



# 別府ゆうきくん

枕崎市立別府中学校  
令和2年6月12日

## 言葉に心を乗せて

校長 竹下 誠

梅雨の季節を迎えるとともに気温も上昇し、いよいよ夏本番が近づいてきました。昨年は6月末から7月にかけて大雨が降り、集団宿泊学習や職場体験学習を途中で中止しなければなりません。今年は、ほどほどの降水量で終わることを願います。

さて、本校では口頭や文書での連絡では間に合わない時などに、学校連絡メールを活用しています。保護者の方が確実に確認していただければ、正確に連絡事項をお伝えすることができます。今ほどメールが普及していない頃は学級連絡網を作成し、電話で連絡事項を伝えていく方法が主流だったと思います。しかし、電話は言葉で伝えていくために、場合によっては肝心な部分が抜けたり、内容が変わったりするなど、伝言ゲームのような結果になってしまうこともありました。そう考えると文字で伝えるメールは大変便利です。

メールをはじめとして、文字を介して会話や情報のやり取りができる、いわゆるSNSは非常に便利ですが、一方では不適切な使用により深刻なトラブルが数多く発生しているのも事実です。心ない誹謗中傷、デマ、いじめ、詐欺など多くの問題が発生し、最悪の場合は人の命に関わる事件も起きています。

自分の気持ちや考えを直接言葉で伝えるとき、相手の声が聞こえ、表情が見えるため、自然と相手の気持ちを察したり、気持ちに寄り添ったりして、伝えたいことがうまく伝わるように自分の声色や表情を工夫します。つまり、言葉に心を乗せて伝えようとするものです。

学校では、自分の考えを適切に伝えたり、自分と友達の考えを比較したりする学習やネットやSNSの正しい使い方に関する学習などを通して、相手を尊重する心や人権について学ぶことを大切にしています。

自分の考えを文字で文章にして伝えることも、もちろん大切ですが、ぜひ、ご家庭でも親子で会話する機会を数多くもっていただき、相手を尊重し、言葉に心を乗せて伝えることの大切さについて話題にいただければありがたいと思います。



## 今こそ、Beautiful Harmonyで!

強制力のない緊急事態宣言に批判の声も多かった中、自粛要請だけで街中から人気が消えた先月の日本。そんな世に少し気にならなことが出てきています。この感染症は3つの怖い顔を持つそうです。第1は「病気の顔」、第2は「不安の顔」、そして第3の「差別の顔」がいろいろ形で出現してきているようで、悲しい気持ちになりそうです。つまり「不満をぶつけた衝動や行動」です。課題の「Beautiful Harmony」とは、令和の新元号発表時に海外メディア向けに「令和を英訳すると？」という質問に日本大使館が答えたものです。「美しい調和」つまり、「日本は人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という願いを込めたのです。というよりもともとそんな国民性を持っていることへの回帰を願ったのでしょ。

一方、最近のニュースからは、残念な事件が続出しています。SNSでの非難中傷、感染症についてデマ拡散、人種差別事件。今、この時こそ、私たち日本人は「美しい調和」を取り戻したいものです。



## 別府中学校PTA活動、いつもありがとうございます

### 最近の3つの活動を紹介します!



親子奉仕作業 高校説明会 安全パトロール

### 鹿児島水産高校さん、ありがとう!

- ◆ 6/9(火)の南日本新聞にも掲載されましたが、錦鯉20匹を寄贈していただきました。鹿児島水産高校海洋科栽培工学コースの皆様、ありがとうございました。
- ◆ 2月に鷺(サギ)に一夜にして全部食べられ、寂しかった池が元気に復活です。
- ◆ 地元で全国水産高校トップレベルの実績を持った素晴らしい高校があることを再認識することでした。中学生の皆さん、進路選択の候補に検討してみてください。



## スクールカウンセラーとの面談募集中!

保健だよりや保護者向け文書でもお伝えしていますが、SC(スクールカウンセラー)の先生とお話し(カウンセリング)しませんか?

SCは、臨床心理に関する専門知識や技法を活かしながら秘密厳守で支援してまいります。カウンセリングは生徒・保護者の希望か、教職員からの薦めで行われます。生徒からの相談は、友人関係・先生との関係・家族の悩み・進路や性格の相談等、さまざまです。学校に関する悩みだけでなく、その背景にある環境や心身の悩み等、当事者が抱える問題を温かくかつ客観的に、そして専門的に解決してもらうことが期待できます。普段、学校の先生には言いにくいことを聞いてもらえるチャンスです。



## 6月中旬~7月中旬の行事予定

- 6/17(水) 第2回スクールカウンセラー配置事業  
※まだ空きがありますので気軽に連絡ください。  
期末テスト前部活動停止期間~
- 6/19(金) 市民あいさつ運動・漢字検定
- 6/24(水)~26(金) 1学期末テスト
- 7/3(金) 学級PTA
- 7/9(木) 別府校区青少年育成地域懇談会(予定)
- 7/11(土) 土曜授業
- 7/16(木) 第2回PTA三役会・代議員会(予定)
- 7/17(金) クラスマッチ

いいね! We love Makurazaki いいね!

## 今、話題の非認知能力って知っていますか?

- ◆ 近年、日本でも非認知的な能力がクローズアップされています。それはIQや学力テストでは表れない能力のことです。なかでも「集中力」や「自制心」、「やり遂げる力」、「モチベーション」などが注目を集めています。
- ◆ 一方、経済的に恵まれない環境に育ちながら学力が高い子どもが一定数おり、彼らの多くは、ある非認知的能力、いわば高い協働性を有していることもわかってきました。力を合わせて物事に取り組むことを楽しみ、他者の意見を尊重し、自分の意見と折り合いをつける能力などです。
- ◆ 他の調査では、生徒同士での「学び合い」の授業を一定時間取り入れている学校の子どもの学習能力が高いという結果も知れ渡ってきました。子どもは先生の話よりも、友達の成功や失敗から多くを学ぶものなのでしょう。
- ◆ またある統計では、学力テストの結果を最も左右するのは、家に50~100冊と多くの本があることで、25%もの差が出ています。次は読み聞かせの習慣の有無で18%、興味深いのは三番目に、博物館や美術館に行ったことがある経験で17%を示しています。これは毎日朝食をとることでの影響率10%を大きく上回っています。
- ◆ これらはすべて「好奇心を誘う環境にあれば子どもは勝手に学んでいく」ことを物語っています。この非認知能力の中で最も身に付けたいのは、「やり遂げる力」であることは自明ですね。